

## 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業（仕様書案）

### 1. 事業の目的

認知症発症期のできるだけ早い段階において、本人・家族に必要な支援を行うことで、認知症の進行を遅らせるとともに、認知症の人ができる限り地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み（以下「チームオレンジ」という。）を地域ごとに配備することを目的とする。

### 2. 配置場所

医療機関

### 3. 担当エリア

当該医療機関が属する行政区

### 4. 実施体制

次の①②いずれかに掲げる要件を満たすコーディネーターを1名以上配置し、本業務を実施するものとする。なお、本業務に携わるコーディネーターは、個人情報保護法の規定等を踏まえ、個人情報やプライバシーの尊重、保護に万全を期すものとし、正当な理由がなく、その業務に関して知りえた秘密を漏らしてはならない。

- ① 認知症の医療や介護における専門的知識及び経験を有する医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、視能訓練士、義肢装具士、歯科衛生士、言語聴覚士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、栄養士、精神保健福祉士又は介護支援専門員
- ② 上記①以外で認知症の介護や医療における専門的知識及び経験を有するものとして新潟市が認めた者

### 5. 業務の内容

本業務については、次の（１）～（６）について実施するものとする。

#### （１）相談窓口業務

認知症本人や家族、関係機関（地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム、医療機関）からの相談に応じ、ニーズを把握したうえで、サービスを提供する関係機関等と連絡調整、協議を行い、必要な支援先につなげる。

## (2) 地域における認知症サポーターの養成

委託事業者と連携し、認知症サポーターの養成を推進し、認知症の正しい理解への普及啓発に努める。

- ア 認知症サポーターステップアップ講座、キャラバン・メイト養成講座への参画
- イ 地域・職域における認知症サポーター養成講座の実施状況の把握
- ウ 認知症サポーター養成講座の受講等の周知活動

## (3) チームオレンジの立ち上げ・運営支援

地域の認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを整備し、その運営を支援する。

- ア 認知症の人やその家族の視点を反映したチームオレンジの活動方針の検討
- イ ステップアップ講座への受講を勧奨し、受講した認知症サポーター等によるチームオレンジの編成とチーム内におけるリーダーの育成
- ウ 認知症やその家族の支援やその家族の支援ニーズと支援のマッチング
- エ チームオレンジ運営支援のための情報交換会等の開催
- オ 地域・職域、小・中・高校生の認知症サポーターのチームオレンジ参加の働きかけ

## (4) 地域資源（認知症カフェ等）の開発支援

認知症の人やその家族の支援ニーズを把握し、必要な地域資源の開発に向けた支援を行う。

- ア 当該地域の地域資源の把握
- イ 自治会、支え合いのしくみづくり推進員、認知症カフェ、地域・職域における認知症サポーター、その他地域住民からの情報収集と分析
- ウ 必要とされる地域資源を関係機関と協議

## (5) 医療・介護等支援ネットワークの形成

当該地域の各関係機関へ出向き、周知活動を行うとともに既存のネットワークを活用し、地域資源の把握、支援ネットワークの形成に努める。

- ア 当該地域の医療・介護の関係機関、生活関連の企業、団体、通いの場等への訪問
- イ 各関係機関で行われている連携会議等への出席  
在宅医療・介護連携センター・ステーション会議、在宅医療ネットワーク情報交換会、居宅介護支援事業者等研修会、認知症サポート医情報交換会、若年性認知症自立支援ネットワーク会議、コミュニティ協議会や自治会

の会合、地区民生委員児童委員の定例会、ケア会議、そのほか各種の会合等

## (6) 実績報告

年間の活動実績を市に報告する

- ア 相談業務の状況（件数、相談先、相談内容、連携先等）
- イ チームオレンジの設置状況（チーム数、チーム員構成内容等）
- ウ チームオレンジ立ち上げに資する活動や取組み、新たに開発した地域資源
- エ ネットワーク構築のために参加した会議等